

## 茅場復元による生物多様性の 保全と環境農法の促進

〒509-0258  
岐阜県可児市若葉台三丁目166番地  
電話:0574-50-2019  
E-mail:sk.ktok3@gmail.com

つづける助成

1年目

実践



茅場から見た天空の茶畑

イベントの延べ参加人数 **65人**

対象地域の  
放棄茅場面積の減少率 **20%**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する  
達成度 **30%**

### 課題

ササユリやオミナエシは生物多様性の高い茅場を代表する植物であるが市販肥料の使用で茅場農法を行う人が減少し茅場が年々放棄され生物多様性が乏しくなっている。

### 目標

放置された茅場を刈払いカヤなどの青草を堆肥として敷き詰める茅場農法を復活することで景観の向上および生物多様性の普及・啓発を図り、都市農村交流を活発化させる。

### 活動内容と成果

●放棄茅場を2ha復元するとともに刈取ったカヤやササを茶畑まで搬送し敷き詰めた。●春に茶摘み体験ツアー、夏に紅茶と釜炒り茶づくり体験ツアー、秋に茅場復元案内ツアー、冬に三年番茶焙煎ツアーを行い計65名の参

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

茅場は急傾斜に面したところが多く車が横付けできる場所が少ないため、刈払い機などの運搬や刈取った茅の搬出が容易でなかった。

#### ■ 工夫した点

新聞・雑誌・TVで天空の茶畑として取り上げられ全国から多くの人を訪れるようになった当地をSNSなどで情報拡散を行った。



加を得た。●お茶のシンポジウムを開催し40名の参加があった。●茅場復元の際に刈取った雑木を薪にし薪焙煎の燃料に提供した。●堆肥とするため落葉を回収し茶畑に敷き詰めた。結果的に集落の美化と茶畑の景観向上に貢献できた。



茶摘み体験ツアーの様子

### 今後の展望

当活動では集落が進める遊歩道事業に参加し、遊歩道が新聞・雑誌・TVで「天空の遊歩道」として紹介され、2017年は4万人が全国から訪れた。今後は集客のみならず集落の経済にも貢献したいと考えている。